出前講座　区分：河川　講座名：河川災害

岩手河川国道事務所
流域治水課

「北上川の治水事業を学ぶ」

開催概要

- 開催日時　令和7年7月22日（火）10:00～14:30
- 開催場所　あいぽーと（一関市狐禅寺）、大林水門
- 参 加 者　JICA（研修員14名、通訳2名、随行者2名）、一関第一高校1年生8名
- 講座目的　JICA課題別研修「持続性と強靭性確保のための防災」

実施内容

今回の出前講座は、JICA関西が実施している『2025年度課題別研修「持続性と強靭性確保のための防災」』として7月上旬から来日しているアジア・アフリカの防災担当行政官の皆様に、「あいぽーと」、「大林水門」にお越しいただきました。JICAの皆様は昨年度に引き続き4回目の来訪です。

当日は12ヵ国（ガーナ、ケニア、マラウイ、ルワンダ、シエラレオネ、ソマリア、スーダン、インド、モロッコ、スリランカ、タイ、トルコ）14名の皆様に、当事務所職員が説明し、通訳の方に英語で同時通訳していただきました。

参加された皆様からは、「治水以外のダムの役割について」、「上下流の治水対策の違いについて」「洪水時に遊水地が湛水する場合の農家への注意喚起の方法について」、「農地が湛水した場合の補償について」、「ハード面以外の洪水対策について」、「流域治水施策を主導している行政機関について」、「北上川流域の豊富な森林資源の利活用について」等沢山の質問をいただき、遊水地事業や流域治水への関心の高さがうかがえました。

また、今回は一関第一高校1年生8名との交流もあり、学生から各国の災害事例や災害への備え等について、英語で積極的に質問を行い、各国事情を知る貴重な経験となったようです。

今日は、JICA研修員の皆様、そして一関第一高校の学生にとって、大変有意義な一日となったようでした。ありがとうございました。

実施状況



同時通訳による説明



一関第一高校との交流



一関遊水地で記念撮影